

守谷なくして県政なし



小川一成の県政報告

発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

重い当選

昨年11月30日 茨城県議会議員選挙が告示になりました。

出陣式にはたくさんの方に参加をいただき、ありがとうございました。

午後5時までに立候補者は一人のみでしたので当選が確定いたしました。

守谷市67,000人のサイレントマジョリティの重さを、しっかりと受け止めてこれからの政治活動に臨む覚悟です。



初登庁

平成31年1月8日 茨城県議会議員の任期は1月7日までであり、12月の県議選で当選した全員が初めて登庁する日です。

議会事務局の職員さんから議員バッジを付けていただき、決意も新たに7期目のスタートをきりました。



最初の臨時議会開催

1月17日 選挙後、最初の臨時議会で「茨城県監査委員」に選任されました。

今日は12月に行われた県会議員選挙後、最初の臨時議会が招集されました。

冒頭に正副議長の選挙を行い川津議長、福地副議長を選出し、次に各常任委員会の構成を決め、私は土木企業委員会に希望通り所属する事になりました。



殺処分ゼロ！ やれる事は直ぐやる

3月19日 茨城県動物指導センターの収容頭数が130頭を超え限界に近づいていることを聞き急遽センターに調査に行ってきました。久しぶりに訪問したセンターは、以前に来た時とは様変わりしていました。

以前は殺すための施設であったものが、今は生かそうとする施設に変わろうとしています。

6年前には年間2158頭の犬を殺していたのが昨年は338頭までに減少することができました。

これにはNPOの団体の皆さんやボランティアの皆さん、現場の皆さんの頑張りによるところが大変大きいと思います。

茨城県が殺処分ゼロを目指して大きく一歩を踏み出したのが、2年前に我々自身の手で制定した「犬猫殺処分ゼロ条例」です。

さらにゼロに近づけるのには、ここがしのぎどころ、踏ん張りどころです。考えられる全ての手を打つべきで、やれる事は直ぐにやる事です。

たとえば、収容している全頭のネット発信や、県主催の譲渡会をセンターだけではなく、県庁やショッピングモールなどの人の集まる場所で実施するなど、目に見える

努力が求められています。

さらに敷地内にある空き地を活用して、ドックランを整備し収容犬の健康管理に配慮するなど出来ることは直ぐに進めて参りたいと思います。



県の監査委員に 任命されて初仕事です

2月13日 今日には笠間陶芸大学校と水戸の県央農林事務所の監査を行いました。

笠間陶芸大学校はH28年に陶芸学科と研究科の新しい育成過程を設置し、新しく笠間陶芸大学校として開講しました。

当時議長をしていた私は開校式に立ち会い「現代陶芸をリードする陶芸家を輩出する産地」として頑張ってくださいとエールを送りました。

開校から3年も経ずして、日本陶芸展の最高位である大賞と同校卒業生が優秀作品賞・文部科学大臣賞のダブル受賞が決まりました。

今日の監査の折にも全国から入校してきた生徒さんが、見事な作品の制作に没頭していました。



小川一成のひとりごと みつばちが生命線

常総市でイチゴを作っている「柳田農園」に我が家のミツバチを持って行きました。

去年の秋に2群持って行ったのですが女王蜂がいなくなったり、群が弱ったりしてイチゴの受粉に影響が出かねないので、新たな戦力を投入しました。

イチゴハウスは蜜や花粉が少なくミツバチ達にとってはとても過酷な労働を強いられています。それでも、けなげに働いて美味しいイチゴを皆さんに届けています。

イチゴハウスはミツバチが生命線です。ミツバチがいないとイチゴはできません。



茨城県総合計画に参加



昨年の11月9日、茨城県の将来像を描く「茨城県総合計画」が答申されました。我が会派や県議会としても「県総合計画」は今後の県政運営の基本方針となる極めて重要な政策であることから、県議会としては昨年3月より「新しい茨城づくり調査特別委員会」を設置し、これまで7回にわたり真剣に検討をしてきました。

いばらき自民党としても、茨城県の将来構想について知事と熱い議論を交わしてきました。

県の委員会としては「調査結果報告書」を知事に手渡し、総合計画に反映されることとなります。

ドクターの必死の声



1月31日 会派を代表して茨城県の最前線で活躍しているドクターの皆さんと熱い議論を交わしました。

みなさんの想いは一緒です。

「医療過疎県をなんとかしなければならぬ。筑波大をはじめ比較的医師が多いと言われている県南ですら実状は心もとない。」というような意見が多く出されました。

現場を預かるドクターの必死な声が心に突き刺さり、極めて大切な意見を聞くことができました。

県の保健福祉部とともに改善できるよう努力して参ります。

MIFAが外務省の事業を受諾

外務省の招聘プログラムである、アジア太平洋地域を対象とした交流事業の日本文化交流ラオス国の受け入れを、守谷市でも行いました。



守谷には3月21日に到着し、翌日から2泊3日のホームステイを体験し、我が家でも2人受け入れをしました。今後も茨城県との交流が多くなり、将来県内で働くことができるように、我が会派としても交流事業を進めて行きたいと思っております。

「守谷みつばち夢プロジェクト」 この指と〜まれ!

「守谷みつばち夢プロジェクト」と「守谷はちみつプリンケーキ」(地元ケーキ屋さん商品開発)が最高賞である知事選定を受賞しました!!

- 地元の四季や環境をミツバチを通して感じる。
- 地元愛を育む。農家さん達とも繋がって協力する。
- 守谷産ハチミツを活用した地元の商品開発をする。

もりや市民大学での講義で市民に活動とミツバチを知ってもらうなど、2013年の活動開始から養蜂を通じて様々な活動をしてきました。

守谷産ハチミツと守谷はちみつプリンケーキのデザイン以上に、プロジェクトの活動全体が高く評価されての受賞となりました。

ミツバチをやっているとハチミツだけでなく「いったいー石何鳥だよ!!」ってくらいいろいろなものがもたらされます。とても贅沢な趣味だな〜と思います。

ミツバチかわいいし楽しいし。

これからも楽しく、そしてもっと広がる活動になるように頑張ります!!

メンバーのみんな、おめでとう!

いつも協力いただいているみなさん、おめでとう!!



ミャンマーに消防自動車を贈ろう



4月初旬、会派を代表してミャンマーに伺い、日本大使館で丸山大使と意見交換した後、ミャンマー消防本部を訪問し、ティン局長と情報交換をいたしました。

同僚の臼井県議はミャンマーに軍事政権時代から長きにわたり

消防自動車を200台近く援助してきました。

日本で役割を終えた消防自動車を集めて送り続け、ミャンマーの消防行政に大きな貢献をしてきました。

今回も日本から贈られた消防自動車が新しい役割を得て活躍しており、茨城県との交流が更に発展する事を確信いたしました。



アーカスプロジェクト



昨年8月31日 ログハウスにて「アーカスプロジェクト」のオープニングレセプションが行われ視察に行きました。

平成30年で25年目になるこの事業は世界中で高い評価を得ています。

今回は、世界中の芸術家665件の応募者の中から選ばれた、トルコ、アメリカ、オランダの芸術家3名が守谷市で約3ヶ月の創作活動にはいります。

その間、地元住民との交流やオープンスタジオの開設など、芸術家との交流の場が数多く設けられております。

●ワークショップ開催

今年の2月25日守谷の「学びの里」で行われているアーカスプロジェクトでは、東京芸大の日比野克彦先生が来てワークショップを行いました。



先生のワークショップは直前まで内容が明かされないため、人気になっています。

今回は、はやぶさ2の話題をテーマにリュウグウに行き採集した物を持ち帰り、何を知りたいのかについて話し合います。

茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646

TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成

検索

「小川一成のブログ」
とても面白い!



配信中

趣味の養蜂

